

★弓矢十動物十穴Ⅱ？

写真の土器の模様は、何を表現しているのでしょうか？よく観察してみてください。

この土器には、細く紐状にした粘土を貼り付けて、弓矢・四本足の動物・落とし穴が描かれています。これは、「弓矢で射つて、獲物（動物）を穴に落とす」という、縄文人の狩りの様子が表現されています。

このように、狩りの光景が描かれた土器を『狩猟文土器』と呼びます。岩手県北部から青森県南部の馬淵川流域に多く見られ、北海道の南部でも出土しています。



狩りの成果が生活に直結していた時代。願いたくなるのも当然ですね

写真の土器は、馬立遺跡から出土したもので、二戸ではほかに、米沢遺跡からも出土しています。調査の結果、この土器の全体が、ベンガラで赤く着色されていたことが、判明しています。また、文様の絵柄も特徴的なことから、狩猟文土器は日用品としての道具ではなく、豊猟を願う祭祀用の道具であったのではないかと考えられています。

縄文人は、この土器に願いを込めて、狩りをしていたのでしょう。大量に獲物が取れたときは、きつと焼肉祭りが盛大に行われていたに違いありません。

こみゆにTeaたいむ

27 秋目

郷土芸能を楽しみましょう

「二戸まつり」の最終日の9月5日（日）午後2時から「にのへまつり実行委員会」本部前で毎年恒例の郷土芸能団体による舞が披露されます。

出演（予定）団体は金田一神楽、金田一大神楽、深山神社神楽、下斗米山伏神楽の4団体です。また浄法寺まつりにおいても9月11日（金）～13日（日）にかけて、山車に続いて、浄法寺七つ物、鹿踊り、駒ヶ嶺新山神楽、杉沢えんぶり、大森大神楽による郷土芸能巡行が行われます。

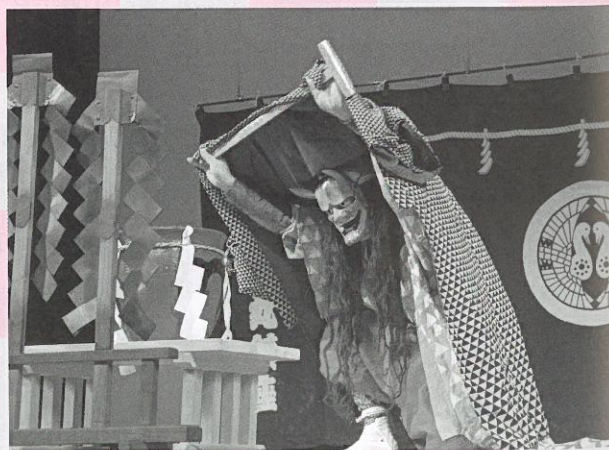
また今秋に確定視されている「早池峰神楽」のユネスコ無形文化遺産登録を記念して、「はやちね全国神楽祭」が花巻市において開催されます。期日は10月31日（土）～11月1日（日）の二日間、場所は花巻市総合体育館です。

この「はやちね全国神楽祭」には国指定の文化財である宮崎県の「高千穂の夜神楽」をはじめとして国指定文化財が全国各地から10団体、岩手県指定文化財が6団体、市指定文化財が4団体出演し、二戸市の「吞

香稲荷神社神代神楽」も出演します。

「吞香稲荷神社神代神楽」の出演時間は、31日の午前11時30分からとなっています。神楽にはいくつかの種類がありますが、この神楽祭で各流派の源流に近い団体がほぼ出そろうとのこと。

この機会にぜひ鑑賞してみたいかがでしょうか。なお入場券は両日とも500円となっております。お問い合わせは、花巻市商工観光課（☎0198-24-2111）まで。



八股の大蛇（吞香稲荷神社神代神楽）

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線652）まで